



三菱電機パッケージエアコン 別売化粧パネル据付工事説明書 (PLP-P160H*)

安全のために必ず守ること

- 据付工事は、この「安全のために必ず守ること」をよくお読みのうえ、確実に行ってください。
- ここに示した注意事項は、安全に関する重大な内容を記載していますので、必ず守ってください。
- 誤った取扱いをしたときに生じる危険とその程度を、次の表示で区分して説明しています。



警告

誤った取扱いをしたときに、死亡や重傷などに結びつく可能性があるもの。



注意

誤った取扱いをしたときに、軽傷又は家屋・家財などの損害に結びつくもの。

- 据付工事完了後、試運転を行い異常がないことを確認してください。この据付工事説明書は、お客様で保管していただくように依頼してください。また、お使いになる方が代わる場合は、新しくお使いになる方にお渡しいただくように依頼してください。

警告

配線は、所定のケーブルを使用して確実に接続し、端子接続部にケーブルの外力が伝わらないように固定する。また、途中接続は絶対に行わない。

- 接続や固定が不完全な場合や、途中接続の場合は、発熱・火災などの原因になります。

改造は、絶対にしない。

- 修理は、お買上げの販売店にご相談ください。改造したり修理に不備があると水漏れや感電・火災などの原因になります。

据付けは、販売店又は専門業者に依頼する。

- お客様ご自身で据付工事をされ不備があると、水漏れや感電・火災などの原因になります。

据付工事は、この据付工事説明書に従って確実に行う。

- 据付工事に不備があると、水漏れや感電・火災などの原因になります。

台風などの強風・地震に備え、所定の据付工事を行う。

- 据付工事に不備があると、転倒などによる事故の原因になります。

据付けは、質量に十分に耐えるところに確実に行う。

- 強度が不足している場合は、ユニットの落下などにより、事故の原因になります。

密閉された部屋、あるいは小部屋などに据え付ける場合は、万一冷媒が漏れても限界濃度を超えない対策を行う。

- 限界濃度を超えない対策については、販売店にご相談ください。万一、冷媒が漏れて限界濃度を超えると酸欠事故の原因になります。

作業中に冷媒が漏れた場合は、換気する。

- 冷媒が火気に触れると、有毒ガスが発生する原因になります。

据付けや移設などの場合は、冷媒サイクル内に指定冷媒以外のものを混入させない。

- 空気などが混入すると、冷媒サイクル内が異常高圧になり、破裂などの原因になります。
- 指定冷媒以外を封入すると、機械的不具合・誤作動・故障の原因になり、場合によっては安全性確保に重大な障害をもたらすおそれがあります。

お客様ご自身で移動・再据付けはしない。

- 据付けに不備があると水漏れや感電・火災などの原因になります。お買上げの販売店又は専門業者にご相談ください。

別売部品やフィルターは、必ず当社指定の部品を使用する。

- 取付けは専門の業者に依頼してください。お客様ご自身で取付けをされ、不備があると、感電・火災・故障・水漏れなどの原因になります。

室内外ユニットの端子盤カバー(パネル)を確実に取り付ける。

- 端子盤カバー(パネル)取付けに不備があると、水・ほこりなどにより、感電・火災などの原因になります。

設置工事終了後、冷媒が漏れていないことを確認する。

- 冷媒が室内に漏れ、ファンヒーター・ストーブ・コンロなどの火気に触れると、有毒ガスが発生する原因になります。

電気工事は、電気工事士の資格のある方が、「電気設備に関する技術基準」、「内線規程」及びこの据付工事説明書に従って施工し、必ず専用回路とし、かつ定格の電圧・ブレーカーを使用する。

- 電源回路容量不足や施工不備があると感電・火災などの原因になります。

可燃性ガスの発生・流入・滞留・漏れのおそれがある場所へは据え付けない。

- 万一ガスがユニットの周囲にたまると、発火・爆発の原因になります。

据付けをする前に(環境)

注意

次の場所への据付けは、避ける。

- ・可燃性ガスの漏れるおそれがあるところ
- ・硫黄系ガス・塩素系ガス・酸・アルカリなど、機器に影響する物質の発生するところ
- ・機械油を使用するところ
- ・車両・船舶など移動するものへの設置
- ・高周波を発生する機械を使用するところ
- ・化粧品・特殊なスプレーを頻繁に使用するところ
- ・海浜地区など塩分の多いところ
- ・積雪の多いところ

- 性能を著しく低下させたり、部品が破損したりする原因になります。

精密機器・食品・動植物・美術品の保存など特殊用途には使用しない。

- 保存物の品質低下などの原因になります。

濡れて困るものの上にユニットを据え付けない。

- 湿度が高い場合やドレン出口が詰まっている場合は、室内ユニットからも露が落ちる場合があります。また、暖房時には室外ユニットよりドレンがたれますので、必要に応じ室外ユニットの集中排水工事をしてください。

病院・通信事業所などに据付けされる場合は、ノイズに対する備えを十分に行う。

- インバータ機器・自家発電機・高周波医療機器・無線通信機器の影響によるエアコンの誤作動や故障の原因になったり、エアコン側から医療機器あるいは通信機器へ影響を与え人体の医療行為を妨げたり、映像放送の乱れや雑音など弊害の原因になります。

据付(移設)工事をする前に



注意

据付台などが傷んだ状態で放置しない。

- 傷んだ状態で放置するとユニットの落下につながり、ケガなどの原因になります。

製品の運搬は、十分注意して行う。

- 20kg以上の製品の運搬は原則として2人以上で行ってください。PPバンドなど所定の位置以外を持って製品を動かさないでください。素手で部品端面やフィンなどに触れるとケガをする場合がありますので保護具をご使用ください。

梱包材の処理は、確実にを行う。

- 梱包材には「クギ」などの金属、あるいは木片などを使用していますので放置状態にしますとさし傷などのケガをするおそれがあります。

エアコンを水洗いしない。

- 感電・発火などの原因になります。

ドレン配管は、据付工事説明書に従って確実に排水するよう施工し、結露が生じないように断熱処理すること。

- 配管工事に不備があると、水漏れし、天井・床・その他家財などを濡らす原因になります。

冷媒配管の断熱は、結露しないように確実にを行う。

- 不完全な断熱施工を行うと配管など表面が結露して、露たれなどが発生し、天井・床・その他大切なものを濡らす原因になります。
- 接続部の断熱施工は、気密試験後に行ってください。

電気工事をする前に



注意

電源には、必ず漏電遮断器を取り付ける。

- 漏電遮断器が取り付けられていないと感電の原因になります。

電気配線は、電流量に合った規格品の電線を使用すること。

- 漏電や発熱・火災などの原因になります。

電気配線は、張力が掛からないように配線工事をする。

- 断線したり、発熱・火災などの原因になります。

アース工事を行う。

- アース線は、ガス管・水道管・避雷針・電話のアース線に接続しないでください。アースが不完全な場合は、感電の原因になります。

正しい容量のブレーカー(地絡・過負荷・短絡保護兼用の漏電遮断器)を使用する。

- 大きな容量のブレーカーを使用すると故障や火災などの原因になります。

元電源を切った後に電気工事をする。

- 感電・故障や動作不良の原因になります。

試運転をする前に



注意

パネルやガードをはずした状態で運転をしない。

- 機器の回転物・高温部・高電圧部に触れると、巻き込まれたり、やけどや感電によるケガの原因になります。

濡れた手でスイッチを操作しない。

- 感電の原因になります。

運転中の冷媒配管に素手で触れない。

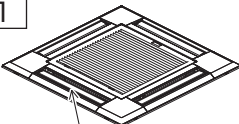
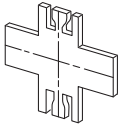
- 運転中の冷媒配管は流れる冷媒の状態により低温と高温になります。素手で触れると凍傷や、やけどになるおそれがあります。

運転停止後、すぐに電源を切らない。

- 必ず5分以上待ってください。水濡れや故障の原因になります。


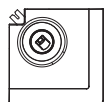
1. 部品の確認 (この箱の中には本据付工事説明書の他に下記部品が同梱されています。)

標準パネルの場合

品名	① 化粧パネル	② 据付用ゲージ
個数	1	1
形状	 上下風向ベーン	 (4分割にして使用)

お知らせ
制御基板のコネクター位置については、室内ユニットの電気配線図をご参照ください。

ムーブアイセンサーパネルの場合

上記①②の部品及び	③ ネジ	④ ムーブアイセンサーコーナーパーネル
	1 4×16 	1 

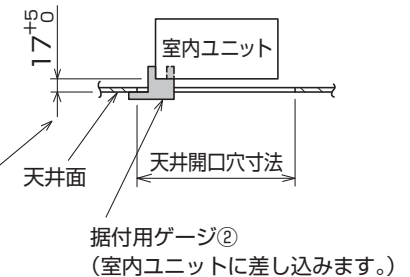
- 上下風向ベーンに、無理な力を絶対に加えないでください。故障の原因になります。
- ムーブアイセンサーコーナーパーネル④のレンズ部分に、無理な力を絶対に加えないでください。故障の原因になります。

2. 化粧パネル取付け前の準備 (単位 mm)

室内ユニット位置の確認

- 1) 天井開口穴が下記の範囲内か確認します。
860×860～910×910
 - 2) 付属の据付用ゲージ②を使用し、天井面と室内ユニットの位置出しを行う。
- 天井面と室内ユニットの位置が合わないと風もれや露たれ及び上下風向ベーンの作動不良などの原因になります。

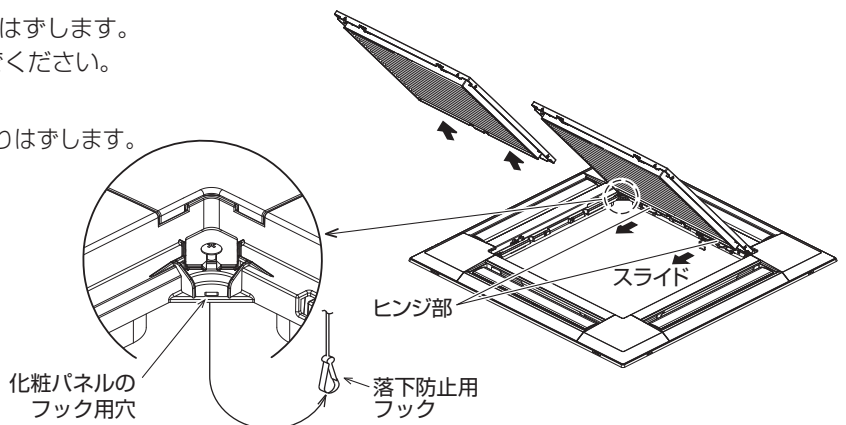
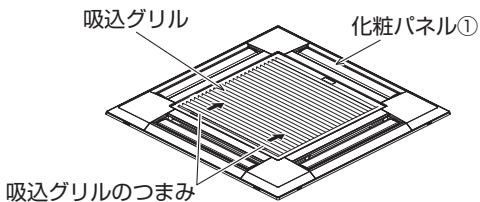
※必ず 17～22 の範囲内とすること。
この範囲が守られない場合、故障などの原因になります。



お願い
■ お客様ご自身で塗装はしないでください。性能を著しく低下させたり、部品破損などの原因になります。塗装は、お買上げの販売店にご相談ください。

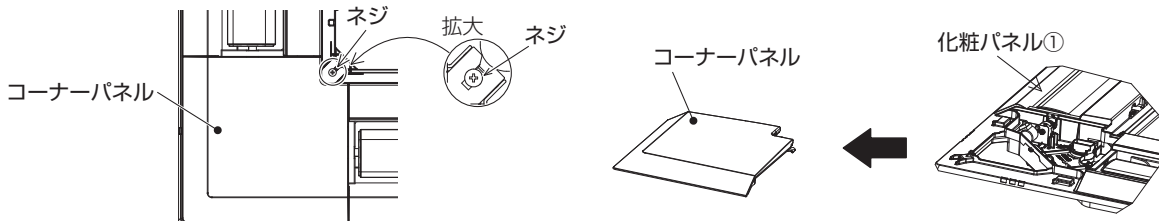
吸込グリルのとりはずし

- 1) 吸込グリルのつまみを矢印の方向にスライドし、吸込グリルを開けます。
- 2) 落下防止用フックを化粧パネルからとりはずします。
※吸込グリル側のフックは、はずさないでください。
- 3) 吸込グリルが開いた状態で矢印の方向に吸込グリルのヒンジ部を化粧パネルからとりはずします。



コーナーパーネルのとりはずし

コーナー部のネジを緩め、コーナーパーネルを矢印の方向へスライドし、コーナーパーネルをとりはずします。



3. 吹出口の配置選択

この化粧パネルは、吹出方向を 11 パターン選択することができます。

(工場出荷時の設定 吹出口数：4 方向 / 天井高さ：標準)

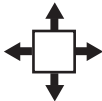
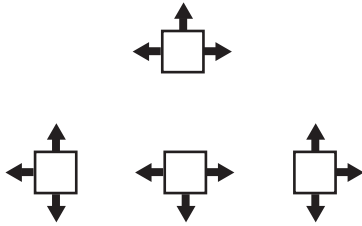
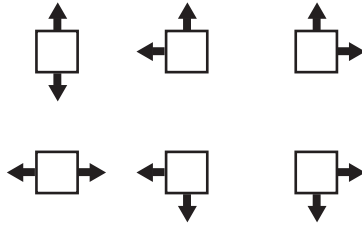
※各種別売部品を取り付けた場合の吹出口数及び天井高さの設定については、別売部品の据付工事説明書もあわせてご確認ください。

●吹出方向のパターンを選択します。1 方向吹出しはできません。

※吹出口数を変更する場合は、別売吹出口シャッタープレートを手配してください。

(吹出口シャッタープレートは、室内ユニットに取り付けますので、必ず化粧パネルを室内ユニットへ取り付ける前に作業してください。)

※高温・多湿環境での 2 方向選定は行わないでください。露つき・露たれの原因になります。

	4方向	3方向	2方向
吹出方向のパターン	①パターン 工場出荷時の状態 	④パターン 室内ユニットの吹出口の1箇所をシャッタープレートでふさぐ 	⑥パターン 室内ユニットの吹出口の2箇所をシャッタープレートでふさぐ 

●吹出口数及び据え付ける天井高さに応じて設定を変更します。

※設定を変更しないと室内ユニットの異常が発生したり、お客様に不快感を与えるおそれがあります。

※高温・多湿環境での静音（低天井）設定は行わないでください。露つき・露たれの原因になります。

1) 組合せ室内ユニットがスリムエアコンの場合

リモコンからの設定となりますので、リモコンに付属してあります据付工事説明書の **機能選択** の項と、室内ユニットに付属してあります据付工事説明書の **リモコンによる機能選択** の項を参照してください。

2) 組合せ室内ユニットがマルチエアコンの場合

室内ユニットの制御基板のスイッチを下表に従い設定してください。

<天井高さ及び吹出口数の対応>

室内ユニットの能力形名	22~90形						112~160形					
	低天井		標準		高天井		低天井		標準		高天井	
	SW21-1	SW21-2	SW21-1	SW21-2	SW21-1	SW21-2	SW21-1	SW21-2	SW21-1	SW21-2	SW21-1	SW21-2
吹出口数	OFF	ON	OFF	OFF	ON	OFF	OFF	ON	OFF	OFF	ON	OFF
4方向	SW21-3 OFF	SW21-4 ON	2.5m	2.7m	3.5m	2.7m	3.2m	4.5m				
3方向	SW21-3 OFF	SW21-4 OFF	2.7m	3.0m	3.5m	3.0m	3.6m	4.5m				
2方向	SW21-3 ON	SW21-4 OFF	3.0m	3.3m	3.5m	3.3m	4.0m	4.5m				

※ 印部以外はスイッチの設定が必要です。(印部は、工場出荷時の状態です。)

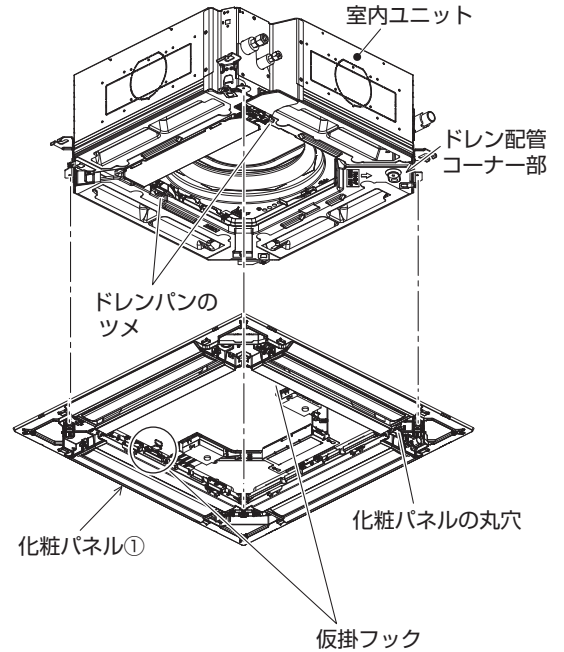
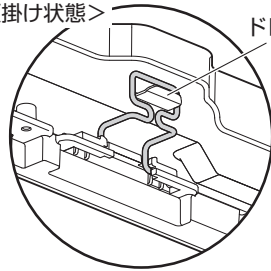
4. 化粧パネルの取付け

1) 化粧パネルの仮掛け

室内ユニットのドレン配管コーナー部と化粧パネルの丸穴があるコーナーの位置を合わせ、化粧パネルの仮掛フックを室内ユニットのドレンパンのツメに引っ掛け、化粧パネルを仮掛けします。

- この時、化粧パネルのリード線を室内ユニットと化粧パネルの間にはさまないようにしてください。
- 仮掛け時には、化粧パネルに無理な力を加えないでください。事故や破損の原因になります。

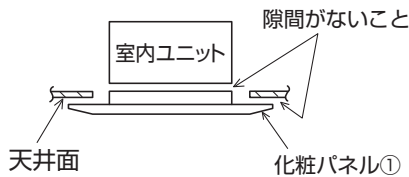
<化粧パネル仮掛け状態>



2) 化粧パネルの固定

化粧パネルの各コーナー部に組み込みのネジを締め付けて、室内ユニットに化粧パネルを固定します。

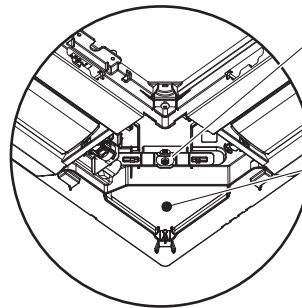
- この時、室内ユニットと化粧パネル、及び化粧パネルと天井面との間に隙間がないようにしてください。



お願い

- ネジを締め付ける際にはトルク2.8N・m～3.6N・mの範囲内で締め付け、インパクトドライバーは絶対に使用しないでください。部品が破損する原因になります。

- 天井との隙間が生じた場合
化粧パネルを取り付けたまま、室内ユニットの据付高さを微調整し、天井との隙間を無くしてください。



化粧パネルの固定ネジ

カンタンコーナーポケットよりスパナなどの一般工具にて、室内ユニットのナットを微調整できます。

3) 配線接続

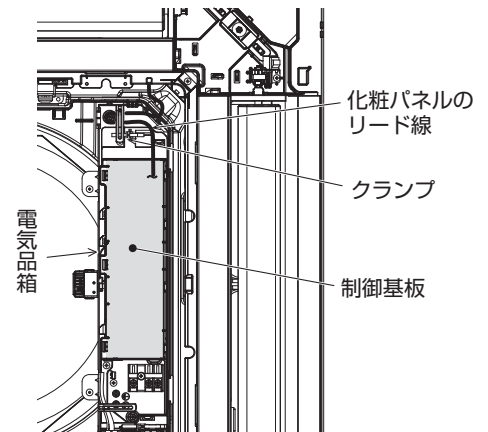
- (1)室内ユニットの電気品箱の電気品カバーを固定しているネジ2本を緩め、電気品カバーをスライドさせて開きます。
- (2)化粧パネルのベーンモーター用コネクタ(白色20極)1個を室内ユニット制御基板のCNVコネクタに必ず接続します。

お願い

- 制御基板のコネクタに対し垂直に接続してください。また、リード線を引っ張らないでください。動作不良や破損の原因になります。

- (3)化粧パネルのリード線は電気品箱内のクランプを使用してたるみの無いように電気品箱内に収めた後、電気品カバーを(1)と逆手順で取り付けます。

※ムーブアイセンサーパネルの場合は、[5](#)、[6](#)ページの「ムーブアイセンサーコーナーパネルの取付け」を参照してください。



5. ワイヤレスリモコン対応の場合

取付方法の詳細は、別売ワイヤレス受光部キットに付属の据付工事説明書を参照してください。

- 室内ユニット制御基板のペアナンバーの設定(室内に1台設置の場合は設定の必要はありません。)と、受光部付きのコーナーパネルの取付けが必要になりますので、吸込グリルを取り付ける前にこの作業を行ってください。

6. MELRemo+対応の場合

取付方法の詳細は、別売無線通信キットに付属の据付工事説明書を参照してください。

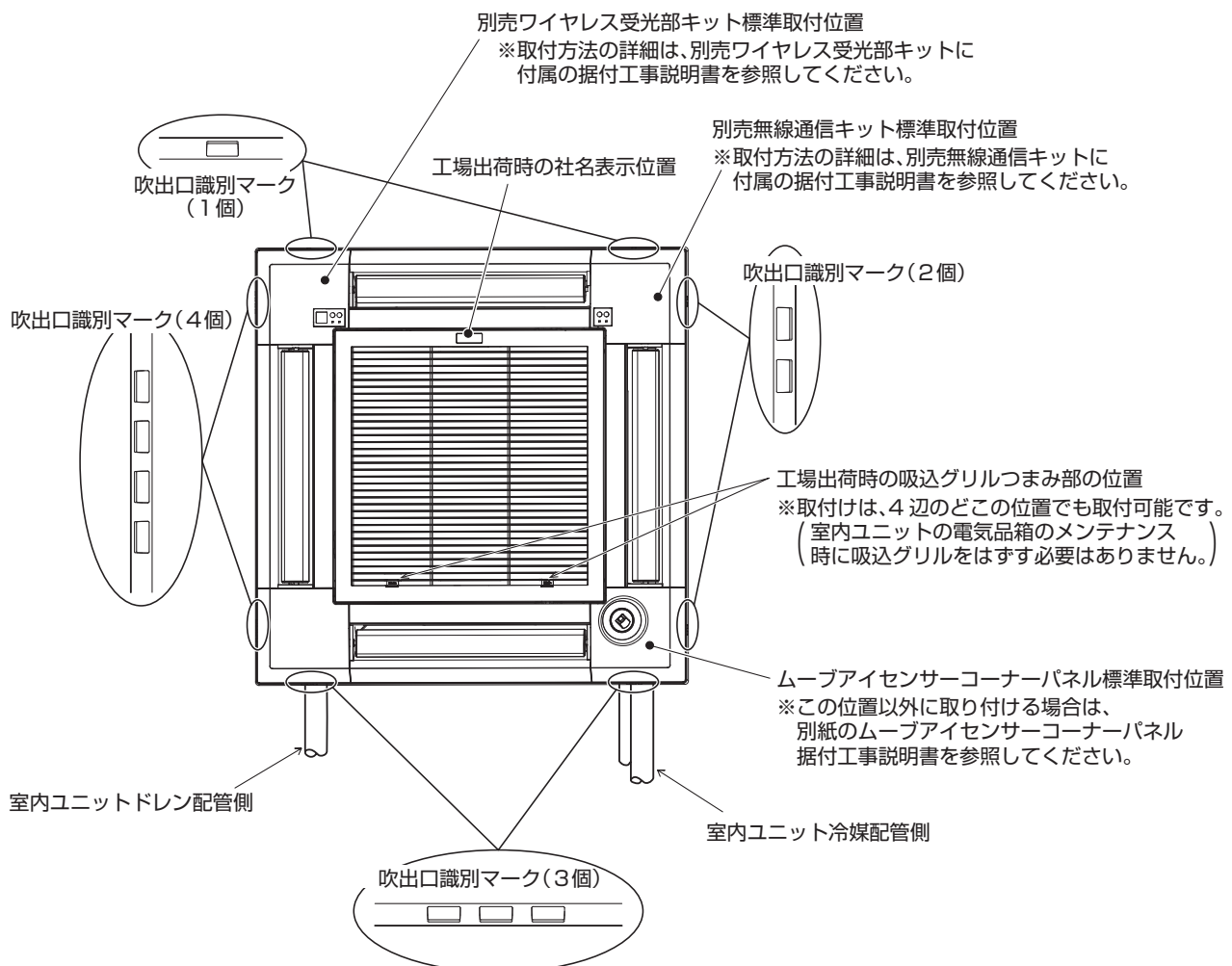
7. 吸込グリル及びコーナーパネルの取付け

この化粧パネルは、複数台設置時の吸込グリルの格子の方向と社名表示ラベルの位置を、お客様の要望により変更することができます。

また、化粧パネルの四角溝形状は、吹出口識別マークです。(下図参照)

化粧パネルの吹出口識別マークを目印に、別売ワイヤレス受光部キット、ムーブアイセンサーコーナーパネル、及び無線通信キットの取り付けを行ってください。

- 但し、別売ワイヤレス受光部キット、ムーブアイセンサーコーナーパネル、及び無線通信キットは室内ユニットのドレン配管側には取り付けできません。
ドレン配管側に無理やり取り付けした場合は、別売ワイヤレス受光部キット、ムーブアイセンサーコーナーパネル、及び無線通信キットの故障の原因になります。



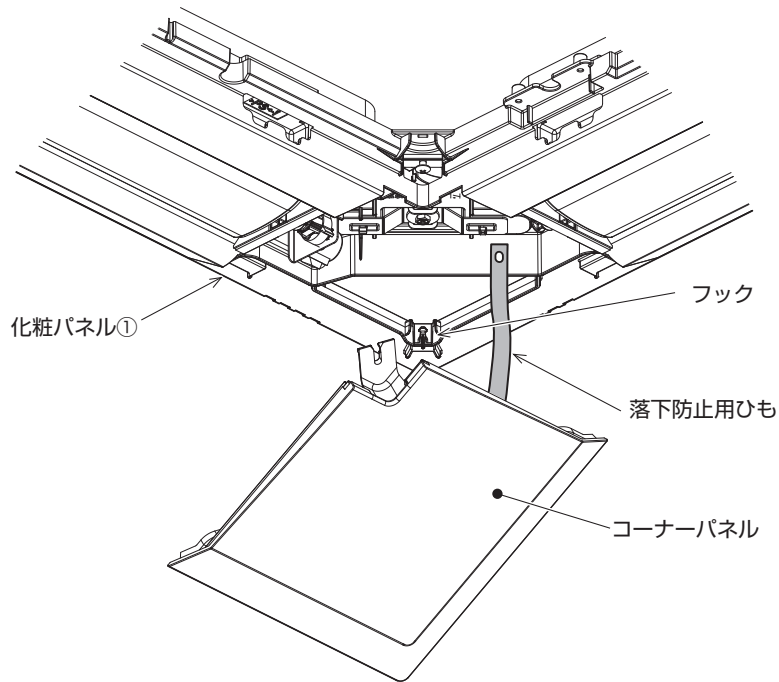
7. 吸込グリル及びコーナーパネルの取付け のつづき

コーナーパネルの取付け

コーナーパネルの取付けは、**2. 化粧パネル取付け前の準備** の項と逆手順で行います。

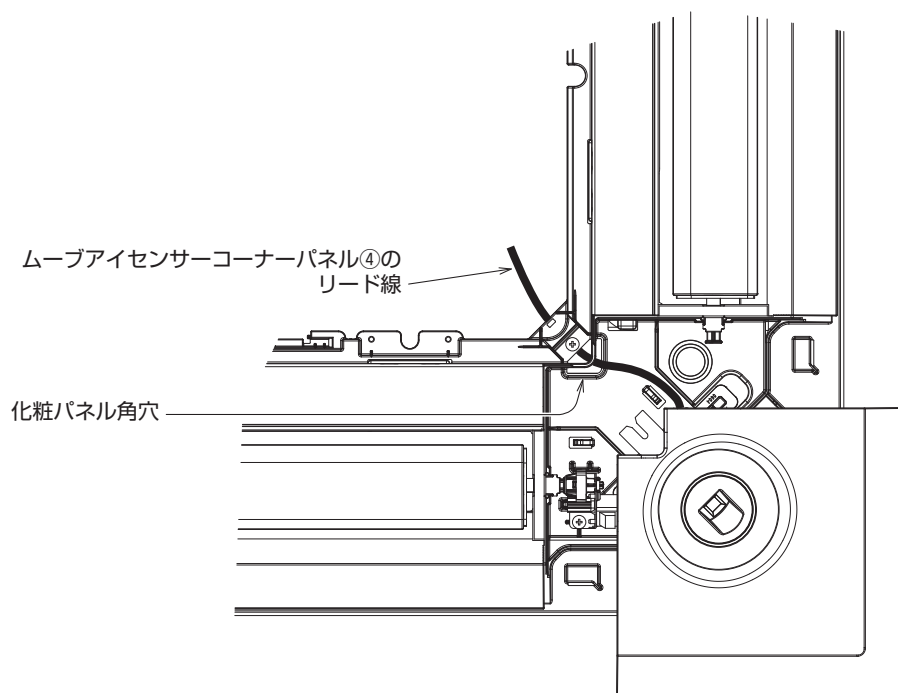
- 落下防止用ひもが付いているコーナーパネルは、ひもを確実に化粧パネルのフックに引っ掛けてください。

※確実に引っ掛けていないと、コーナーパネルが運転中に落下するおそれがあります。



ムーブアイセンサーコーナーパネルの取付け（標準取付位置）

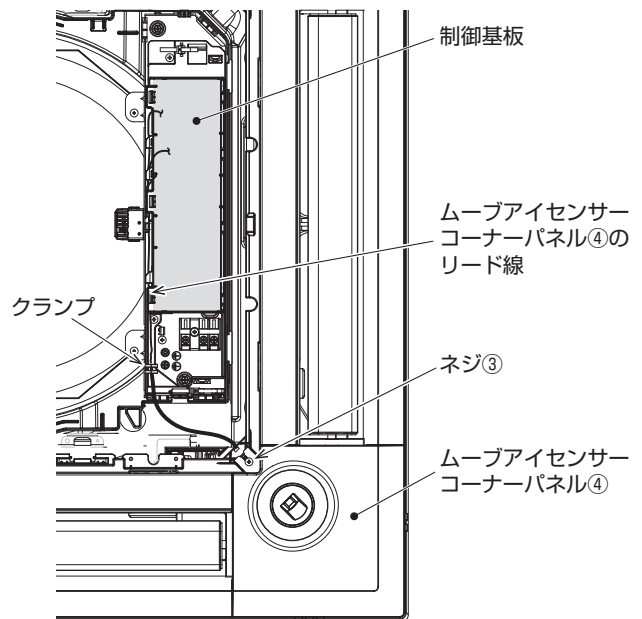
ムーブアイセンサーコーナーパネル④のリード線を化粧パネルの角穴に通します。



7. 吸込グリル及びコーナーパネルの取付け のつづき

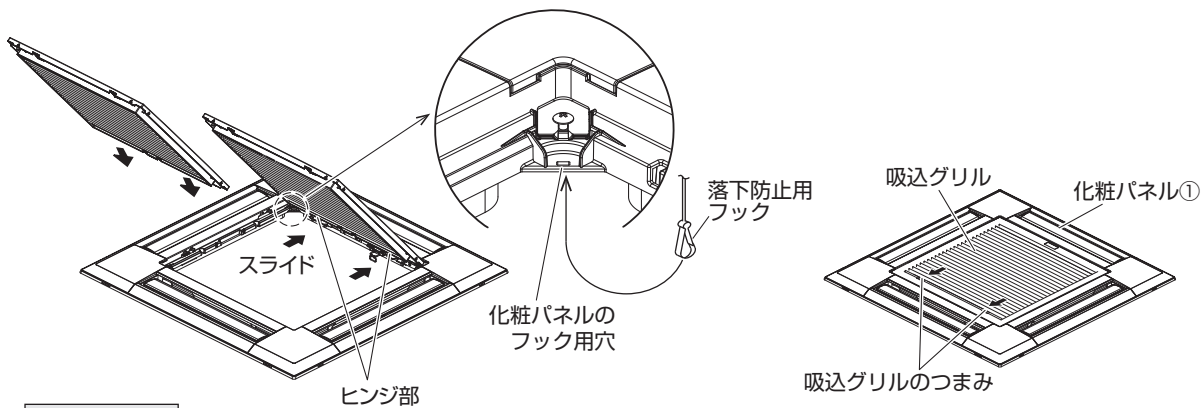
ムーブアイセンサーコーナーパネルの取付け（標準取付位置）

- 1) 室内ユニットの電気品箱の電気品カバーを固定しているネジ2本を緩め、電気品カバーをスライドさせて開きます。
- 2) ムーブアイセンサーコーナーパネル④のリード線コネクタ（白色4極、白色5極）を室内ユニットの電気品箱側面よりとりまわし、制御基板のコネクタ CN4Z（白色）及び CN5Y（白色）に必ず接続します。
- 3) ムーブアイセンサーコーナーパネル④のリード線は、電気品箱内のクランプを使用してたるみの無いように電気品箱内に収めます。
- 4) 電気品カバーを 1) と逆手順で取り付けます。
- 5) ムーブアイセンサーコーナーパネル④を化粧パネルに取り付け、ネジ③で固定します。



吸込グリルの取付け

- 1) 吸込グリルのヒンジ部を化粧パネルに引っ掛けます。
- 2) 落下防止用フックを化粧パネルに取り付けます。
- 3) 吸込グリルのつまみを矢印の方向にスライドし、吸込グリルを固定します。



8. 確認

- 室内ユニットと化粧パネル、及び化粧パネルと天井面に隙間のないことを再確認します。
※ 隙間があると露つきや露たれの原因になります。
- 配線接続が確実にされていることを確認します。
※ 接続されてないと上下風向ベーンが動かない、また露つきや露たれなどの原因になります。
- ワイヤレスリモコン対応（別売）の場合、リモコンと室内ユニットのペアナンバーが合っていることを確認します。
- ムーブアイセンサーパネルの場合、ムーブアイの回転動作を確認してください。
※ ムーブアイが回転しない場合は、7. 吸込グリル及びコーナーパネルの取付け の作業を再確認してください。
- 無線通信キットを使用する場合、室内ユニットの運転中に無線通信キットの運転ランプが点灯することを確認してください。
※ 運転ランプが点灯しない場合は無線通信キットに付属の据付工事説明書を参照して取付けの作業を再確認してください。

上記項目を確認した後、この据付工事説明書と室内ユニット及び別売部品の説明書などの一式全てをお客様へ渡してください。その際、室内ユニットの取扱説明書に記載されたフィルターの清掃について必ず説明してください。

お願い

- フィルターをはずしたまま運転をしないでください。
内部に油・ゴミが詰まり、故障の原因になります。
- 試運転以外での長時間の運転はおやめください。
建築中の現場などで長時間運転しますと、ほこりやにおいが付着する場合があります。